HORIBA

Daiwa Investment Conference Tokyo 2018
日本語資料

Atsushi Horiba
Chairman & Group CEO
HORIBA, Ltd.

March 6-7, 2018

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2018年1月1日より

HORIBAグループの新しい経営体制がスタート

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

新経営体制への移行

氏名	新	旧
堀場 厚	代表取締役会長 兼グループCEO	代表取締役会長兼社長
齊藤 壽一	代表取締役副会長 兼グループCOO	代表取締役副社長
足立 正之	代表取締役社長	専務取締役
長野 隆史	取締役グローバルATS(自動車計測事業)ボード リーダー	取締役 営業本部長

新経営体制の狙い

グループ経営力強化、経営体制明確化、堀場製作所の更なる技術力/開発力強化

今後の役割

堀場：ガバナンスの強化や企業文化の浸透、グループ全体を統括

齊藤：グループ全体を統括し、具体的な戦略をリード

足立：堀場製作所の経営に注力、グループ本社としての機能強化

長野：自動車計測事業に集中し、グローバルなビジネス拡大を加速

2017年10月24日開催の記者会見

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

※本プレゼンテーションにおける2015年の実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値を記載しております。

＜ 免責事項＞

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年の振り返り

外部環境	◆ トランプ政権発足 ◆ 英国EU離脱通告→英国総選挙 ◆ フランス大統領選挙、ドイツ連邦議会選挙 ◆ 半導体業界活況→IoT、AI、自動運転などの技術革新へ ◆ 電動化、排ガス規制
内部状況	◆ 新拠点・センター開設（米国、英国、韓国 等） ◆ 阿蘇工場拡張工事完了 ◆ 医用大型業務提携 ◆ 新経営体制への移行が決定 ◆ 上場来高値更新、時価総額3,300億円突破

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年12月期 決算概要

HORIBA

売上高、利益、配当いずれも過去最高を更新。ROEは11.5%

P&L

◆自動車と半導体セグメントが前年比増収増益を達成

B/S

◆総資産は設備投資により+262億円の2,659億円

◆有利子負債は金融子会社設立(米・英)により▲46億円の420億円

◆自己資本比率は56.5%

CF

◆利益計上などにより、営業CF:＋282億円

◆設備投資などにより、投資CF:▲131億円

} フリーCF:+151億円

◆短期借入金の返済などにより、財務CF:▲90億円

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年12月期 通期連結実績

HORIBA

（単位：億円）

★ 過去最高	2016年	2017年			
	実績	前回予想 (2017/12/19)	実績	vs前年	vs前回予想
売上高	1,700	1,920	★ 1,953	+253	+33
営業利益	184	245	★ 268	+83	+23
営業利益率	10.9%	12.8%	13.7%	+2.8p	+1.0p
経常利益	182	235	★ 266	+83	+31
親会社株主に帰属する当期純利益	129	150	★ 162	+33	+12
USドル（円）	108.78	111.00	112.16	+3.38	+1.16
ユーロ（円）	120.26	127.00	126.70	+6.44	▲ 0.30

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2017年12月期 通期連結実績（セグメント別）

HORIBA

（単位：億円）

★ 過去最高	売上高					営業利益				
	2016年	2017年				2016年	2017年			
	実績	前回予想 (2017/12/19)	実績	VS 前年	VS 前回予想	実績	前回予想 (2017/12/19)	実績	VS 前年	VS 前回予想
自動車	622	720	★ 733	+111	+13	35	67	★ 76	+41	+9
環境	167	170	★ 174	+6	+4	15	6	10	▲ 4	+4
医用	265	250	251	▲ 13	+1	28	17	19	▲ 8	+2
半導体	388	520	★ 533	+144	+13	96	150	★156	+59	+6
科学	257	260	261	+3	+1	9	5	4	▲ 4	▲ 0
合計	1,700	1,920	★1,953	+253	+33	184	245	★268	+83	+23

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2017年12月期 決算概要
- **2018年12月期 通期 業績予想**
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2018年市場環境の想定

自動車	日本・アジアを中心とした排ガス規制強化や、電動化・自動運転技術開発の加速により、自動車関連メーカーの投資意欲旺盛
環境	原油価格上昇による石油産業の投資回復 新興国での環境規制強化
医用	国内：開業医市場の需要は堅調 海外：新興国では血液検査需要拡大
半導体	半導体メーカーの設備投資は引き続き活況 自動車の電動化によるパワー半導体需要拡大にも期待
科学	半導体市場向け分光器の需要は堅調 二次電池・半導体市場の活況による新素材研究加速

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2018年想定為替レート

（単位：円）

	2016年	2017年	2018年	
	実績	実績	予想	vs 前年
USドル	108.78	112.16	110	▲ 2.16
ユーロ	120.26	126.70	130	+ 3.30

2018年予想：1円円高による営業減益額（通期）

USドル　2.1億円

ユーロ　0.2億円

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2018年12月期 通期業績予想

（単位：億円）

★ 過去最高	2016年 実績	2017年 実績	2018年 予想	2018年 vs前年
売上高	1,700	1,953	★ 2,100	+146
営業利益	184	268	★ 290	+21
営業利益率	10.9%	13.7%	13.8%	+0.1p
経常利益	182	266	★ 284	+17
親会社株主に帰属する当期純利益	129	162	★ 190	+27
一株利益（円）	307	386	450	+64
ROE	10.0%	11.5%	12.1%	+0.6%

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

2018年12月期 通期業績予想（セグメント別）

HORIBA

（単位：億円）

★：過去最高	売上高 2017年 実績	売上高 2018年 予想	売上高 vs 前年	営業利益 2017年 実績	営業利益 2018年 予想	営業利益 vs 前年
自動車	733	★ 790	+56	76	★ 80	+3
環境	174	★ 190	+15	10	14	+3
医用	251	260	+8	19	20	+0
半導体	533	★ 580	+46	156	★ 170	+13
科学	261	★ 280	+18	4	6	+1
合計	1,953	★ 2,100	+146	268	★ 290	+21

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車 2017年実績／2018年予想

HORIBA

（単位：億円）

2017年実績

- ＋ **排ガス** 全世界での規制対応により販売増加
- ＋ **MCT**※1 自動車メーカーの投資回復による販売増加
- ＋－ **ECT**※2 MIRA日本チーム設立による費用増加
  次世代規制・技術開発に向けた積極投資

※1 Mechatronics（自動車計測機器）　※2 Engineering Consultancy & Testing（自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験）

2018年予想

- ＋ **排ガス** 欧州では新規制導入後も需要は堅調
  中国・インドでは新規制導入に向けて需要増
- ＋－ **MCT** 2018年は横ばいも、2019～20年にかけて
  自動車メーカーの新棟建設加速
- ＋ **ECT** 積極投資により、次世代技術開発関連の
  受注拡大

＜自動車売上内訳＞

※3 Intelligent Transport Systems（自動車運行管理システム）

売上高・営業利益推移（通期）　売上高　営業利益

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車　次世代排ガス規制の状況・電動化への対応

（単位：億円）

次世代排ガス規制の導入状況

規制	EU	日本
WLTP※1	2017年9月	2018年10月（予定）
RDE規制※2		2022年（予定）

中国・インド：2020年新規制導入予定（ユーロ6同等）

※1 Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure
（国連提唱の世界統一排ガス試験法）

※2 Real Driving Emission（実路排ガス規制）

<排ガス売上高・受注残推移>

電動化への対応

試験設備の提供

単体（駆動系・モーターなど）から実車までカバー

電気モーター試験設備

電気自動車の試験

電池開発・分析

- バッテリーパックや管理システムの開発・試験（ホリバMIRA社）
- リチウムイオン電池や全固体電池の分析・評価（科学の技術を活用）

バッテリー開発

科学製品による材料分析

技術リソースの相互活用でビジネス拡大

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

自動車　自動運転技術開発への貢献

英国内でのビジネス

英国政府主導のプロジェクトに参画

- 自動運転プロジェクト「UK Autodrive」
- ホリバMIRA社の設備で実証実験を主催

「UK Autodrive」の主なメンバー※

※UK Autodrive Consortium members
http://www.ukautodrive.com/consortium-members/ より

英国政府からの新案件を受注

自動運転車の多目的試験設備を建設
（通信機能、衝突・車両旋回などの検証）

試験設備の完成予想図

グローバル展開への取り組み

駐日英国大使館でのイベント開催

- 自動車関連メーカーや英国政府要人が出席
- 電気自動車・自動運転ビジネスの可能性を紹介

英国メイ首相の中国訪問に同行

- ホリバMIRA社CEOのジョージ・ギレスピーが同行
- 英国自動車産業の代表として選出

英国を中心にグローバルなビジネス展開を加速

駐日英国大使館でのイベント
（右から2番目：ポール・マデン 駐日英国大使）

英国メイ首相訪中

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

環境　2017年実績／2018年予想

HORIBA

（単位：億円）

2017年実績

＋ 煙道排ガス分析装置 ｛ 国内：リプレース需要堅調
中国：VOC規制で販売堅調

－ 北米のプロセス計測設備ビジネスは、原油産業の投資減により販売低調

2018年予想

＋－ 煙道排ガス分析装置は、国内リプレース需要を確実に取り込み。中国VOC規制進展にも期待

＋ プロセス計測設備は、原油産業の投資回復により販売増

＋ 水質計測装置は国内リプレース需要の取り込み、新興国でのビジネス拡大により販売増

＜ビジネス別売上高＞

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

環境　新興国市場のビジネス拡大

HORIBA

ガス

新興国での需要に応える新製品発売

（直挿式レーザー塩化水素計「TX-100」）

特徴：部品の定期交換不要・容易な校正
→ランニング/メンテナンスコスト削減

期待：拡大するごみ焼却場・清掃工場に投入

ローカルエンジニアリングの強化（インド・中国）

煙道排ガス分析装置を現地仕様にカスタマイズ

TX-100（中国清掃工場へ導入）

インドでの現地カスタマイズ

水質

現地規制への対応による販売増

韓国

排水規制内容変更
→迅速な改造対応で現地認証取得

インド

- 現地工業規格の認証取得
- 販売代理店増加による販路拡大

各国工場の排水処理工程へ水質計測装置導入

【排水処理場】

韓国

インド

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

医用　2017年実績／2018年予想

（単位：億円）

2017年実績

- ＋－ 日本での自動血球計数CRP測定装置の販促強化による費用の増加
- － 南米での血液検査装置の販売減
- ＋－ 新製品投入による販売促進費用、米国FDA承認取得費用の増加

2018年予想

- － 日本での自動血球計数CRP測定装置の競争激化
- ＋－ 新製品投入による販売増、販売促進費用、米国FDA承認取得費用の増加

最新検査システム

HELO
HORIBA Evolutive Laboratory Organisation

Solution
（2017年発売）

ブラジルでの顧客ラボ据付完成予定図

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

医用　ビジネス拡大に向けた取り組み

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社（シーメンス社）と長期的パートナー契約締結

契約月：2017年10月
内　容：検査装置、画像診断装置、治療システムなど総合的ヘルスケアを提案するシーメンス社に中大型血球計数装置を供給

HORIBA Yumizenブランドと両輪での拡販をめざす

＜検査カテゴリー別の事業展開＞

検査カテゴリー		生化学	血球計測	免疫	凝固
市場規模		2兆円	3,500億円	2兆円	2,000億円
病院	大病院 検査センター				
	中小病院	生化学	中/小型 血球計数	CRP	中/小型 凝固 装置
開業医					
病棟・手術棟（POCT）					

日本、フランスの技術が融合した新製品 “Yumizen H630CRP”

- 白血球5分類（フランス）+CRP測定（日本）
- 開業医、中小病院向け
- 電子カルテ対応ソフトウェア「GATE LINK」と連携

新製品
Yumizen H630CRP

展示会
（2017年11月販売開始）

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

半導体　2017年実績／2018年予想

（単位：億円）

2017年実績

- 売上高・営業利益ともに過去最高
- マスフローコントローラー（MFC）の生産量は過去最高水準

2018年予想

- 年前半の半導体メーカーの設備投資需要は堅調
- 阿蘇工場拡張による供給能力拡大

売上高・営業利益推移（通期）　売上高　営業利益

半導体市況及びMFC関連市場トピックス

データセンターのストレージ量増加
AIやIoT関連のビッグデータ処理増加
自動車における半導体使用量増加
▶ 半導体・製造装置の需要増加

＋

半導体製造技術の変化
（微細化、3D-NAND、多層化）
▶ エッチング装置の需要拡大

⇓

マスフローコントローラー需要増加

ハイエンドエッチング装置に対しての強み

PI（Pressure Insensitive）機能を搭載し、急激な圧力変動に対して、安定した流量制御を実現

差圧式MFC
CRITERION D500

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

半導体　安定供給体制の確立と販売・サービス能力の強化

阿蘇工場拡張工事完了

能力増強によりさらなる需要増に対応
高品質な製品をタイムリーに納入

金額：約27億円
完成：2017年12月
狙い：MFCの生産能力拡大（延床面積約1.5倍）

堀場エステック阿蘇工場外観

海外サービス・販売拠点の強化

韓国「堀場エステック・コリア社、新拠点開設」
- 2017年4月開設
- 生産能力強化、エンジニア増員

台湾「ホリバ・台湾社　新拠点開設」
- 2017年9月開設
- クリーンルームを1→2部屋に増設

中国「サービスオフィス新設（武漢、南京）」
顧客に密接したサービスを展開

堀場エステック・コリア社新拠点

ホリバ・台湾社　オープニングセレモニー

マスフローコントローラー　世界シェア　約60%　自社調べ（2017年12月現在）

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

科学　2017年実績／2018年予想

HORIBA

（単位：億円）

2017年実績

- ⊖ 日、米、欧で大学向けなどの研究開発用分析装置の販売が低調 ⇔ ⊕ 中国向け好調
- ⊕⊖ 新製品投入に向けて開発費用増加
- ⊕ 米国半導体市場向け分光器の販売が好調

2018年予想

- ⊕ 引き続き分光器の販売は堅調に推移
- ⊕ 日、米、欧にて大学向け製品の需要回復
- ⊕ お客様のニーズに合わせた製品カスタマイズによる新規市場開拓

グレーティング（回折格子）

- 分光分析装置の心臓部
- 世界トップレベルの技術
- 1997年にHORIBAグループ入りしたホリバ・フランス社（旧ホリバ・ジョバンイボン社）が開発、生産

ホリバ・フランス社
ヨーロッパ・リサーチセンター

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

科学　新市場向け新製品と成長市場での取り組み

バイオ・ライフサイエンス市場向け 新製品「DUETTA」

- 蛍光吸光分光装置
- 抗体治療医薬の開発に使用
- 2014年に買収した旧Photon Technology International社（米）と旧米国ホリバ・ジョバンイボン社の技術を融合

高速検出器を用い
スピーディな測定を実現

操作性を追求した
新ソフトウェアを使用

ラマン分光分析装置 中国ビジネス拡大と最先端技術への応用

ラマン・蛍光分光技術シンポジウムを開催

材料分析・エネルギー・
化学関連などの技術者
80名参加
（2017年8月中国敦煌市で開催）

東レリサーチセンターがHORIBAラマンで新分析手法を開発

- 従来の顕微ラマンにAFM（原子間力顕微鏡）技術を融合
- ナノメートルレベルの分析が可能

↓

パワー半導体の構造解析に有効

AFM（原子間力顕微鏡）
ラマン

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■**株主還元**
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金＋自己株式取得 ＝ 連結純利益×30％ を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

配当金及び自己株式の取得

2016年実績　85円［中間　30円、期末　55円］

2017年実績 116円［中間　40円、期末　76円］
（前回予想から21円上方修正）

2018年予想 120円［中間　50円、期末　70円］

10年間の配当金推移（単位：円）

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2017年12月期 決算概要
- 2018年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

現場に寄り添った働き方改革

ステンドグラス・プロジェクトの取組み

STEP1 2014年
「女性活躍推進」からスタート

STEP2 2015年～
「働き方改革」ワークショップ開始
テーマ「一人ひとりの行動変化」

STEP3 2017年～
経営・人事・現場を繋ぐ
現場・組織毎の特徴を生かす

2018年の重点施策

- 会議効率化：運営方法策定、全社展開
- 現場に沿った柔軟なワークスタイル実現に向けた制度導入の検討

2017年 活動の振り返り

カエル会議

「早くカエル」
「仕事のやり方をカエル」
「自分をカエル」

34回実施
（約340名参加）
「会議の効率化」が共通課題と判明

柔軟性をもった働き方の実現

- 全社アンケートによる現場の声吸い上げ
- 仕事と介護両立に向けた支援

カエル会議

仕事と介護の両立セミナー

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA Premium Value運用スタート

資産効率を測る独自の経営指標を予算化

「営業利益」から「資本コスト」を差し引いた指標

HORIBA Premium Value

＝ **営業利益** － **資本コスト**

（投下資本 × 社内資本コスト率）

- コンセプトが浸透しやすいシンプルな計算方法
- 事業部門が日々管理指標にしている営業利益を使用
- 効果やターゲットを金額で把握できるよう絶対額で評価

各部門での活動とのつながり

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

営業利益分析

（単位：億円）

粗利の増加　+112.8　　為替影響　+13.0　　経費の増加　▲42.5

営業利益増加　+83.3

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

為替の売上高・営業利益への影響

（単位：億円）

2017年通期　為替影響額（前年比）

売上高　+41.7億円　営業利益　+13.0億円

（億円）	売上高			営業利益		
	合計	USドル	ユーロ	合計	USドル	ユーロ
自動車	+12.6	+3.2	+9.6	+1.8	+0.5	+1.0
環境	+2.9	+0.8	+1.0	+0.9	+0.0	+0.4
医用	+7.9	+1.5	+5.1	+0.3	+1.9	▲ 0.6
半導体	+10.6	+7.0	+0.2	+8.8	+5.8	+0.1
科学	+7.5	+3.0	+4.1	+1.0	+0.3	+0.5
合計	+41.7	+15.7	+20.1	+13.0	+7.0	+1.5

※アジア通貨等の影響により、上記2通貨の影響合計が
全社での影響合計に一致していません。

為替感応度（2018年通期予想）

1円円高による売上高/営業利益の影響額

売上高

USドル　▲5.2億円
ユーロ　▲3.2億円

営業利益

USドル　▲2.1億円
ユーロ　▲0.2億円

2016年1-12月平均実績	USドル：108.78円、ユーロ：120.26円
2017年1-12月平均実績	USドル：112.16円、ユーロ：126.70円
2018年1-12月予想	USドル：110.00円、ユーロ：130.00円

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

設備投資額・減価償却費・研究開発費

（単位：億円）

	2016年	2017年				2018年	
	通期実績	前回予想（12/19）	通期実績	VS 2016年	VS 前回予想	通期予想	VS 2017年
設備投資額	137	150	116	▲ 21	▲ 34	160	+44
減価償却費	68	72	75	+7	+3	75	+0
研究開発費	129	140	139	+10	▲ 1	155	+16
（対売上高比）	7.6%	7.4%	7.1%	-0.5%	-0.3%	7.4%	+0.3%

2017年トピックス	・有形固定資産	阿蘇工場増築（約23億円）、MIRA設備投資（約13億円）
	・減価償却費	MIRAのれん等※（約4億円）
	・研究開発費	環境事業で増加
2018年トピックス	・有形固定資産	MIRA設備投資（約17億円）、各エリア拠点整備等
	・減価償却費	MIRAのれん減＋新規投資＋阿蘇工場償却費増（約1億円）
	・研究開発費	自動車計測・半導体事業で増加

※MIRAのれん等…無形固定資産の償却費含む

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

連結キャッシュフロー

（単位：億円）

	2017年通期	2016年通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	+282.8	+158.7	+124.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 131.6	▲ 104.2	▲ 27.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 90.4	▲ 4.5	▲ 85.9
現金及び現金同等物期末残高	583.3	519.4	+63.9
フリー・キャッシュ・フロー	+151.2	+54.4	+96.7

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

資金の状況

（単位：億円）

	2014年	2015年	2016年	2017年
流動比率	254%	242%	237%	239%
自己資本比率	60%	56%	55%	57%

- グループ内貸付による外部借入金削減
- 直近の格付け：R&I「A－」（2017年7月）、JCR「A」（2017年8月）

※現預金など…現金及び現金同等物の期末残高

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- ■2017年12月期 決算概要
- ■2018年12月期 通期 業績予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ■その他トピックス
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

会社概要

- 本社　京都市
- 創業　1945年
- 設立　1953年
- 決算日　12月31日

堀場 厚
代表取締役会長兼グループCEO

－ 社是 －

人生のもっとも活動的な時期を費やす仕事に
プライドとチャレンジマインドを持ち、エキサイティング
に取り組むことによって人生の満足度を高め、
よりおもしろおかしく過ごせる。

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

事業セグメント

自動車計測システム機器

- エンジン排ガス計測システム
- 自動車試験システム
- 自動車テレマティクス
- 車両開発エンジニアリング（ホリバMIRA社）

環境・プロセスシステム機器

- 大気測定、排ガス測定、水質測定機器
- 環境放射線測定器、放射温度計
- 環境規制市場とプロセス市場に対応

医用システム機器

- 充実の体外診断用検査システム
- ホリバABX社の技術とマーケティングノウハウ

半導体システム機器

- マスフローコントローラー
- 薬液濃度モニター
- 堀場製作所、堀場エステック社、堀場アドバンスドテクノ、ホリバ・ジョバンイボン社の技術連携

科学システム機器

- 500種類を超える理化学分析装置
- 自動車、エネルギー、バイオライフサイエンスなど最先端科学技術分野おける新素材・材料開発に貢献
- 光計測コア技術を他セグメント製品と融合させ、新たな分析装置の開発へ応用展開

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

事業セグメント

自動車計測システム機器

環境・プロセスシステム機器

医用システム機器

半導体システム機器

科学システム機器

売上高 1,953 億円

（　）＝売上高構成比率

事業セグメント別売上高（億円）

2017年度

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

世界市場シェア

エンジン排ガス計測システム

煙道排ガス分析装置

血球計数CRP計測装置

※2015年末調査時点　日本国内シェア

マスフローコントローラー

ラマン分光測定装置

グレーティング

※各製品のマーケットシェアは当社推定値

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

グローバルネットワーク売上高

（2017年度）
売上高：1,953億円

2017年地域別売上高比率

地域別グループ会社数（2017年12月31日）

米州	9
欧州	22
アジア	17＊日本4社（堀場製作所含む）
計	48

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

地域別従業員比

従業員数 2017年12月31日現在
7,399名
アジア：4,041名
54%
欧州：2,414名
33%
米州：944名
13%

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

ご清聴ありがとうございました。

© 2018 HORIBA, Ltd. All rights reserved.